

1号暗室ケーブル配置

1号暗室：

- ・ 10m 電波暗室で、システム構成機器、大型重量機器の試験に適しています。
- ・ ターンテーブル直径 5m、質量 5,000kg までの機器の測定ができます。
- ・ 制御用コンピューター・監視用機器などの対向機を地下室に設置することにより、対向機の影響を少なくして試験をすることが出来ます。
- ・ 暗室内へのフォークリフト・車両の乗入れができますので大型重量物の搬入が可能です。
- ・ 排気ガスなどの排気、機器への給水・排水、圧縮空気の供給ができます。
- ・ 3相電源の供給ができます。
- ・ 測定室のHから電波暗室内のEまで光ファイバー1が標準で敷設されています。
- ・ 同じく測定室のHから地下室内のLまで光ファイバー2が標準で敷設されています。
- ・ ターンテーブルの中心に開けられた穴 K を経由して、地下室内へケーブルを引き込みます。
穴 K 内に障害物はありません。穴Kから地下室内のテーブルまでの配線長は7m必要です。

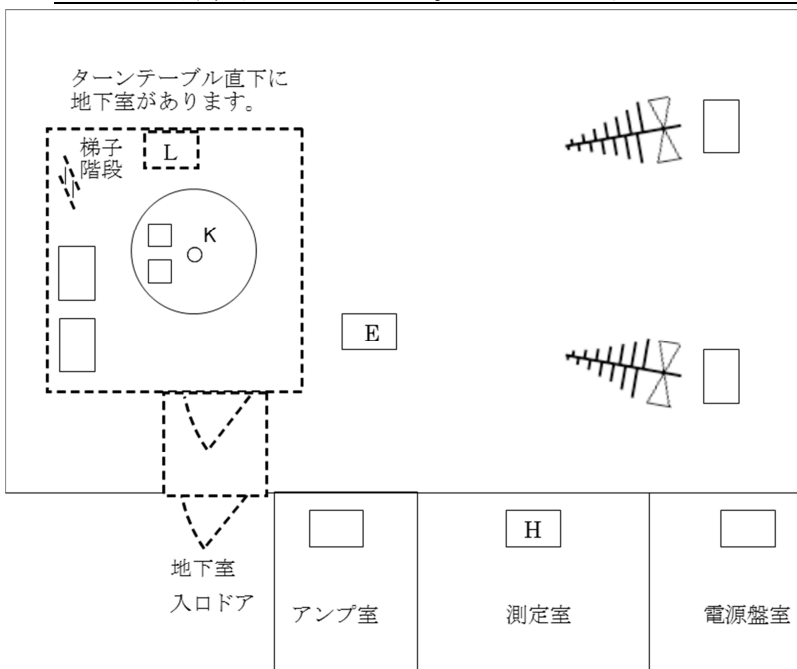


図1 1号電波暗室のレイアウト図

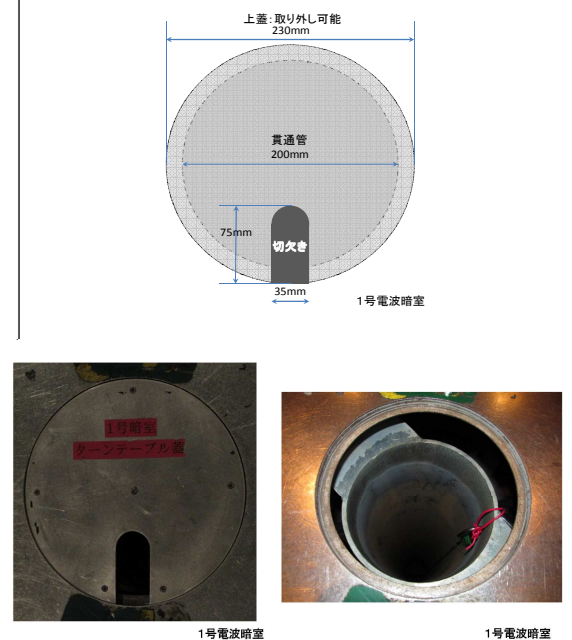


図2 穴Kの上蓋寸法と写真

表1 既設ケーブル

ケーブルの種類	タイプ	その他	本数
光ファイバー1	STコネクタ	コア/クラッド：62.5/125 μ m 波長：850nm、マルチモード 光GP-IBやイーサネットのメディアコンバータ 100BASE-TX/FX などにご利用頂けます。	2本（コア）
光ファイバー2	STコネクタ	コア/クラッド：62.5/125 μ m 波長：850nm、マルチモード 光GP-IBやイーサネットのメディアコンバータ 100BASE-TX/FX などにご利用頂けます。	2本（コア）

2号暗室ケーブル配置

2号暗室：

- ・ 10m 電波暗室で小型機器の測定用です。
- ・ ターンテーブル直径 2m、質量 250kg までの機器の測定ができます。
- ・ 対向機を A 又は B の床下収納庫及び電源盤室へ設置が可能です。
- ・ 電源盤室 J から A 又は B の床下収納庫まで表 2 のケーブルが標準で敷設されています。

この配線はターンテーブルの中心に開けられた穴 K を経由して、ターンテーブル上に配置された被試験機まで延長が可能です。A 又は B から穴 K を経由して高さ 80 cm のテーブル上までの配線長は 4 m 必要です。図 4 の写真のようにターンテーブル上の E U T へ供給される電源配線が共用されています。

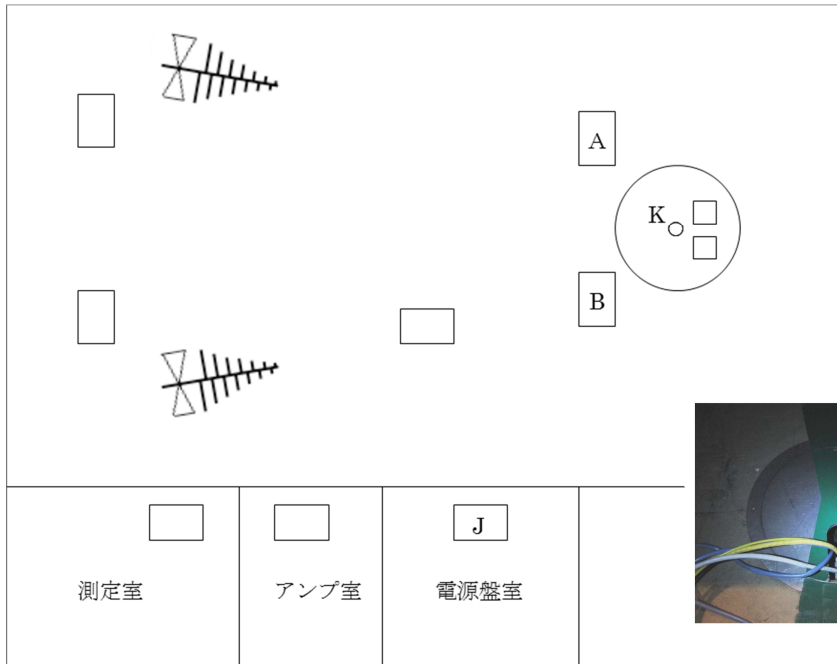
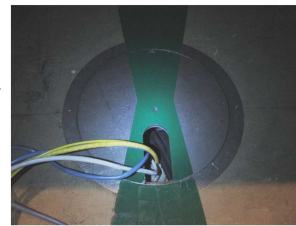
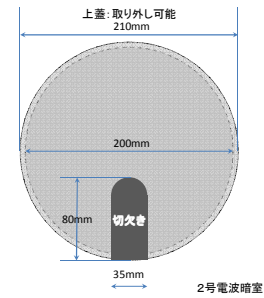


図 3 2号電波暗室のレイアウト図



2号電波暗室

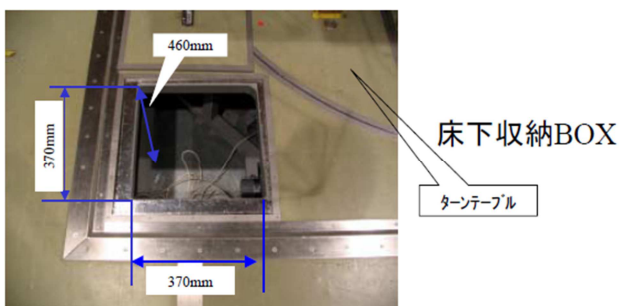


2号電波暗室

図 4 穴Kの上蓋寸法と写真

表 2 既設ケーブル

ケーブルの種類	タイプ	その他	本数
イーサネット・ケーブル	UTP	CAT5 e	2本
イーサネット・ケーブル	STP	CAT5 e、メタル・コネクタ	2本
同軸ケーブル	RG 5 5/U	BNCコネクタ	2本
光ファイバー	G I, SC/PC	マルチモード	2本 (コア)
光ファイバー	SM, SC/PC	シングルモード	2本 (コア)
GP - I B			1本



対向機設置室
(電源盤室)